

新たな VR コンテンツの開発で 事業拡大につなげる

課題

独自のVR技術の 課題を解決したい

株式会社フィリットは2005年に測量業として創業したが、その後、360度全方位映像の撮影制作研究を開始。2011年には、映像制作に付帯するサービス事業として「移動体計測システムを用いた地理情報システムへの動画情報提供サービスの展開」をテーマに経営革新計画の承認を受け、さらに2014年からはVR（仮想現実）・AR（拡張現実）・MR（複合現実）のコンテンツやアプリケーションソフトを開発するソフトウェア事業にも進出している。

測量事業の顧客は地元の測量会社だが、映像制作・ソフトウェア事業では大手製造業などから受注し、なかでも同社が開発したVR同時視聴システムは、複数のHMD（ヘッドマウントディスプレイ、頭部に装着するディスプレイ）をモニターとして、パソコンから一斉に360度の映像空間をコントロールして視聴可能にするもので、各県の警察本部の交通安全教育用に採用されているほか、住宅ショールームや工場見学、社員教育など、活用の幅が広がっている。

そして、すべてのHMDの軌跡データをパソコンへ送り、視聴者が何処を見ているかわかるシステムを発表した。しかし、それで取得できるデータはHMDの向いている中心であり、視聴者の目線と完全に合致するわけではない。そこでアイトラッキング（視線計測）機能を付加した新システムの開発に乗り出した。

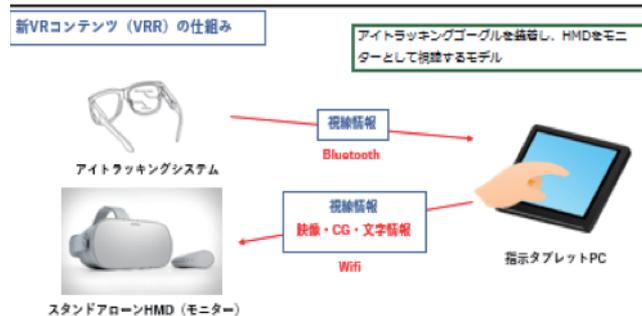
支援

経営革新計画で 技術開発を後押し

開発にあたって相談を受けた湖西市商工会では、経営革新計画の策定・申請、経営革新計画促進事業費補助金の活用を提案。静岡県商工会連合会広域サポートセンターと連携して、支援を行った。

計画では、既存のVR同時視聴システムのアイトラッキング機能を付加するとともに、スタンドアロン型HMD（パソコンなどの機器に接続することなく、単体でVRを視聴できる）を使って、得られた視線情報をもとに目線方向に映像や文字情報を複合的に表示する技術を開発。それにより経営力の向上を図る目標を書面化した。

そして2019年1月、「アイトラッキング機能を付加した



新 VR コンテンツの仕組み

PC一斉コントロール型VRコンテンツの開発・販売」をテーマに経営革新計画の承認を得ることができた。商工会では、さらに経営革新計画促進事業費補助金の申請書の策定支援も行うなど、開発の実現を後押しするサポートを継続して行っている。

開発が進められている新しいVRコンテンツ技術の視線情報の活用は、医療検査診断装置への応用が可能なほか、高齢者向けシステム、土木建築点検システムとしての応用も期待されている。

今後は、同システムを応用した新商品の開発や、展示会への出展などの販路開拓にも取り組んでいく予定だ。

支援の経過

期間	支援内容
2018年12月	経営革新計画の策定支援
2019年3月～	経営革新計画促進事業費補助金の申請支援

会社概要

会社名：株式会社フィリット
住所：静岡県湖西市駅南3-4-22
電話番号：053-577-2981
URL：<https://www.feelit360.com/>
代表者名：代表取締役 山本雅俊
創業年：2005年
従業員数：9名
商工会名・担当者名：湖西市商工会・二橋和久